

校長だより 「校長室からこんにちは」 No. 10

コミュニティ・スクール 太宰府東小学校 校長 河野 美保 令和6年2月28日(水)発行



1年生のチューリップの芽がのびてきています。

「ありがとう」(感謝の言葉)がいろいろな場所で聞こ

えてきます!

前回の校長室だよりでお伝えしましたが、1月9日の後期前半開始の全校朝会で、私は子どもたちに「『ありがとう』という言葉大切にしていきましょう」と話をしました。2月は、学校中でこの「ありがとう」の言葉がたくさん聞こえてきました。

↓地域の方へ感謝状を渡す6年生



まずは、2月2日(金)に「地域の方へ感謝の気持ちを伝える会」が行われました。この会は、日頃からお世話になっている見守り隊の方々、地域コーディネーターの皆さん、そして読み聞かせボランティアの皆さんへ子どもたちが「ありがとうございます」の気持ちを伝えるという主旨の会です。準備と運営は、6年生が担ってくれました。6年生は、感謝状とメッセージ入りの手作り名札を準備し、司会等も頑張ってくれました。お一人お一人紹介する際には、名前を確認するなど、細やかな配慮が見られました。6年生の歌声も披露し、全校児童で「ありがとうございました」と大きな声でお伝えすることができま

した。参加して下さった地域の方も笑顔あふれる会となりました。

次は、2月16日(金)に行われた「6年生へ感謝の気持ちを伝える会」です。本校では、これまで1年間、1年生から6年生まで、10名程度の縦割りグループを作り、月に1回程度縦割り遊びを行ってきました。その縦割りグループを引っ張ってってくれた6年生に、各学年の子どもたちから「ありがとう」の言葉を伝えました。この会の司会は、次の最上級生である5年生です。各グループで5年生が上手に司会をしながら、会を進めていました。1年生は連絡帳に書いた

↓円になって6年生に感謝を伝えるグループ



た言葉をはっきりとした声で6年生に伝えることができていました。

↓感謝状を渡す6年生の様子



最後は、2月22日(木)に行われた学習参観です。6年生は、これまでの小学校生活を支えてくれた保護者の皆さまへの感謝の気持ちを自分の言葉で話していました。そして、感謝状と手作りプレゼントを渡していました。中には、涙ながらに感謝の気持ちを伝える6年生もいて、見ている私も感激しました。

4年生は、「10歳の未来宣言」と題して、自分の将来について夢を語っていました。その姿は、堂々としていて、これまでの練習の成果を発揮することができていました。その後の呼びかけ、歌に保護者の皆さまへの感謝の気持ちを伝える姿が見られました。4年生、一人一人の成長を感じる会となりました。

2年生は、生活科で自分の成長について調べ、まとめる学習を行いました。その学習を通して、自分の成長を感じ、発表の姿で成長を伝えようと頑張りました。それぞれのグループに分かれ、自分たちで考えた発表を精一杯行っていました。

↓将来の夢を語る4年生の様子



1年生は、小学校に入学して自分たちができるようになったことをグループごとに発表しました。どのグループ

も毎日練習を頑張っていました。縄跳びグループ、漢字グループなど自分たちが1年間でできるようになったことを、自信をもって発表していました。1・2年生は、自分たちの成長の姿を見せることで感謝の気持ちを表現する学習でした。

このように、2月は学校全体で、地域の皆さま、保護者の皆さま、6年生へ感謝の気持ちを伝える会が開かれ、学校中に「ありがとう」の言葉があふれた1ヶ月となりました。

↓グループで発表する2年生の様子



太宰府の祭りについて、学びました!

本年度は、4年生の社会科で太宰府に伝わる祭りである「鬼すべ」、「鷺かえ」について、実際に祭りに携わってくださっている地域の方をお呼びして学習を行うことができました。子どもたちは実際に体験することで多くのことを学びます。来てくださった木

↓「鬼すべ」について説明して下さる木村さん



村様、木うそ保存会の皆さまは、子どもたちに体験してほしい、学んでほしいという思いでたくさん準備をしてくださいました。

「鬼すべ」の学習では、実際に祭りで使う衣装や鬼の角を模したわらのかぶり物やうちわなどを見せてくださいました。「鬼じゃ、鬼じゃ」というかけ声も教えてくださり、子どもたちは目を輝かせていました。

「鷺かえ」の学習では、

↓「鷺かえ」について説明して下さる山竹さん

紙の筒を使ってつくった「鷺」を人数分準備して下さり、子どもたちはそれを使って「鷺かえ」の模擬体験を行いました。どちらの学習も実際に体験することで子どもたちの興味・関心が高まり、伝統行事についての学びが深まりました。実際の祭りを見に行っただ子どもたちもいたようです。まさに「百聞は一見にしかず」ですね。



木うそ保存会の皆さまから、メッセージです。太宰府館にて、年に数回、木うその制作体験を行っていらっしゃるそうです。興味のある方は、ぜひ参加してください…とのことでした。

また、木うそは「コシアブラ」の木でしか作れないそうで、現在、コシアブラの木が生えているところを探していらっしゃるそうです。コシアブラは、その芽が山菜として重宝されているそうで、木うそを作ることでできる枝に成長する前に芽が取られている場合も多く、木うそを作るための枝探しに苦慮されているとのことでした。ご存じの方は、ぜひ教えてください。ご協力よろしくお願いします。

<ティーブレーク>～中庭の池について～

来年度、本校にエレベーターが設置されることになりました。これまで、骨折などけがをした児童がいたときは、ゆっくりと階段を上がって行き来していました。エレベーター設置が決まったとき、職員とともに大変喜びました。

しかしながら、校舎配置の関係で児童昇降口前に設置することに決まり、中庭の池を撤去することとなりました。聞くところによると、創立10周年の際に中庭の池が設置されたとのこと。本校卒業生の皆さまにとっては、非常に思い出深い池ではないかと案じております。エレベーター設置工事は、来年度の夏頃から始まると聞いています。卒業生の皆さま、撤去される前に中庭の池を見に来てください。お待ちしております。

